

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成28年10月27日(2016.10.27)

【公開番号】特開2015-146632(P2015-146632A)
 【公開日】平成27年8月13日(2015.8.13)
 【年通号数】公開・登録公報2015-051
 【出願番号】特願2015-77756(P2015-77756)
 【国際特許分類】

H 0 4 R 9/04 (2006.01)

【F I】

H 0 4 R 9/04 1 0 5 A

【手続補正書】

【提出日】平成28年9月7日(2016.9.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

音声を收音したマイクロホンから出力される音信号を難聴者に向けて放音する難聴者支援スピーカであって、

開口とこの開口に連通した空洞とを有するエンクロージャと、

前記開口に放音面を向けて支持された振動部と、

磁気ギャップを有し、この磁気ギャップを前記振動部に向けるようにして前記空洞側に支持された磁気回路と、

一端部の外周面にコイルが巻回され、前記コイルが巻回された方の端部が前記磁気ギャップ内に収められたボビンと、

筒体の一端側を外側に広げたような形状をなすカプラーであって、当該カプラーの内周面に前記ボビンにおける前記コイルが巻回された側と反対側の端部が接着されており、当該カプラーの外側に広がった分部が前記振動部に接着されているカプラーと

を具備し、

前記エンクロージャの内壁面は卵状に湾曲しており、

前記エンクロージャは、第 1 の腕体及び第 2 の腕体を全体として中空な卵状をなすように接合したものであり、前記エンクロージャをなす前記第 1 の腕体及び前記第 2 の腕体の外周面の直径は当該第 1 の腕体及び第 2 の腕体の接合部分において最大幅となっており、

前記第 1 の腕体には、当該第 1 の腕体の後端面と前記空洞との間を貫く第 1 の孔が穿設されており、

前記第 1 の腕体の外殻には、前記空洞の側に向かって凹んだ凹部が設けられており、

前記エンクロージャには前記凹部から前記第 1 の腕体を貫いて前記第 2 の腕体に伸びる第 2 の孔が設けられている

ことを特徴とする難聴者支援スピーカ。

【請求項 2】

前記振動部が、前記エンクロージャにおける前記開口よりも前記空洞の内側に凹んだ位置に支持されている、請求項 1 記載の難聴者支援スピーカ。

【請求項 3】

前記エンクロージャにおける前記開口と前記振動部との間の部分が、直管状をなしている、請求項 1 記載の難聴者支援スピーカ。

【請求項 4】

前記振動部は、中空ハニカム構造をなすハニカムコアと、前記ハニカムコアを両側から挟む 2 枚のアルミニウム製のフィルムとを有している、請求項 1 記載の難聴者支援スピーカ。

【請求項 5】

前記ハニカムコアは、正六角形状をなしており、当該正六角形の一辺が 1 mm である、請求項 4 記載の難聴者支援スピーカ。